

学部長（現在の役職）

アンティオキア・メデリン大学（コロンビア） 社会人間科学学部（社会学、心理学、歴史学、人類学および社会学からなるプログラムおよび精神分析学科）教授。

3年にわたって副学長の地位を占めた後、学生からの幅広い支持と最後に、大学の上級審議会の無記名投票を経て協議の末選出。

社会人間科学学部ソーシャルワーク学科准教授。家族、ジェンダー、少数民族の権利問題を研究する研究者で活動家。国内外で講師として講演。

市の社会的、政治的指導者。数々の賞を受賞：2012年：市議会によってメリット勲章ドン・ファン・デル・コラル、金賞を授与。人権擁護と優れた社会的リーダーシップの卓越した仕事に対する表彰。メデリン市議会、公的機関および民間機関の他の機関も含む。

近年（2017年8月） 書籍 「男性になる」 を出版。

学歴 大学と大学院：

博士号：「社会科学におけるジェンダーの視点」 コンプルテンス大学（スペイン、マドリッド）

修士号：「協力と開発の」。バルセロナ大学（スペイン、バルセロナ）

特別プログラム修了 社会研究理論、方法論、技術学 アンティオキア大学

特別プログラム修了 家族ソーシャルワーク ポンティフィカル・ボリバリアナ大学。

ソーシャルワーカー ポンティフィカル・ボリバリアナ大学。

Lic. 教育管理と監督 ラ・サバナ大学。

IASSW へのビジョン

今のものは組織を知るために十分でないし、提案されたものを実行するにも十分ではないと思うので、私は新しい時代に向けて自分の提案をノミネートしたいと思います。 2015



年にメデリンで理事会を開催した経験から、中南米は世界レベルで、カリキュラムの発展に貢献するために多くの要素があります。

私は現在、世界でソーシャルワーカーのトレーニングのための場所と目標を明確にし確保する必要があると信じています。そして市民の教育とトレーニングの重要性を確信します。倫理的で政治的なテーマなので、IASSWのような組織の存在は非常に重要だと思われます。ますますグローバル化している世界では、私たちが広い視野、議論、そして討論を維持できる場所が必要です。ソーシャルワーク教育において、共感を共有し公的な場所に提示することは、すべての人間のための正義と平等へ向かう社会改革を約束するために不可欠です。今、私たちの東のような組織が、変革と社会正義のためのすべての知恵と創造的行動をコントロールし提案することは今まで以上に必要です。

IASSWは、カリキュラムの質を向上させるために貢献すること、そして世界のソーシャルワークの使命に関する意識的で明確な分析を国際的に交換し充実させることは非常に重要です。

今日、コロンビアでのソーシャルワークは、IASWS（国際水循環学会）のような組織の支援が紛争後の生活のために重要であり、多くのプログラムからのすべての支援は非常に重要です。たくさん手を差し伸べることが必要で、最近では復員したゲリラがいる地域で、私は歴史的瞬間に自分の職業の重要性とアカデミーのサポートを確認しました。

同様に、私は人権という視点からにおけるソーシャルワーク教育の新しい分野を開拓することに興味を持っています。それは、現代の社会問題をもたらした闘争から生まれる新たな社会運動と課題を理解することにつながるからです。ジェンダー、特に男性性や政治教育の立場からみた性的多様性は、私たちの研究分野では尊重されるべきトピックです。私たちがこのような状況に対応できなければ、私たちの使命は意味がないと信じています。要するに、グローバルな観点で相互依存、サポート、協力を促進し、各分野の特異性を深く尊重することがポイントです。理事会においては、私は質問をしたりされたりを経験をしましたが、ラテンアメリカの視点で見るソーシャルワークの側面を聞くことができました。

